

第2回

ジャングルにくらすサル

考え方

問題文の内容をまとめてみましょう。

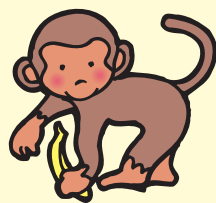
●サルのむれの順位

動物園のサル 一定の面積の中で、一定の量の食べ物をわけあうなかで競争関係が生まれ、強い者から順位が決まっていく。

野生のサル ほうふな食料があるジャングルでは、むれの中で取り合いをしなくても食べられる。競争する必要がないので、むれに順位はできない。

●ほかのサルたちとのすみわけ

- 野生のサルは、ほかのサルたちとすみわけることで、競争をかいしようしている。
- ちがうジャングルで生活する。
- ちがう食べ物を食べる。
- ちがう時間に生活する。



問一 ほかのサルたちとどのようにしてすみわけるのは、第五〜第七段落にまとめられています。

第五段落：こう水ではかいされたあと、新しい木々がはえはじめたジャングルで生活する。

第六段落：地面が高くてこう水のえいきょうを受けにくいジャングルの、上の方で生活する。

第七段落：食べ物や生活時間によってすみわける。

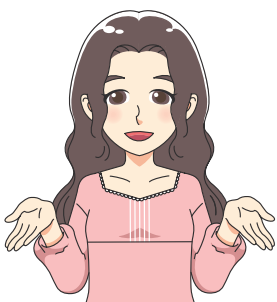
ここから、野生のサルのすみわけの説明としてあわないものは、イだとわかりますね。

問二 指示語の問題です。③の直前に注目しましょう。

こう水ではかいされたジャングルに新しい木々がはえはじめます。

答えは、「こう水ではかいされたあと、新しい木々がはえはじめたジャングル。」などとまとめればよいですね。

指示語の指す内容は、指示語の前にあることが多いよ。



問一 まず、①の「この考え方」の内容をおさえることが大切です。第一段落に注目しましょう。

- サルのむれは、ボスザルがひきいている。
- ボスザル以外のサルたちにも、それぞれ順位があり、食べ物をとる順番まで決まっています。

伊沢さんは、この考え方はまちがっていると言っているのですね。その理由は、11〜13行目に書かれています。

困んでみよう

「エブリスタディ」第2回の問題文の大事なところを困んでみよう。

11〜13行目

ほうふな食料があるジャングルでは、むれの中で取り合いをしなくても食べられます。競争する必要がないので、むれに順位はできないわけです。

ここから、(A)には「ほうふな食料」、(B)には「取り合い」が入るとわかりますね。

動物園のサルには順位ができるけれど、野生のサルには順位ができないのね。



問四 それぞれのサルの持ちようをまとめてみましょう。

名前	生活する場所	食べ物	生活時間
リスザル ティティザル	新しい木々がはえはじめたジャングル	果実 こん虫	/
ウーリーモンキー クモザル	高い木々がはえている安定したジャングル	果実	/
フサオマキザル	両方のジャングル	果実 こん虫 木の葉 木の果実	昼
ホエザル	両方のジャングル	木の葉	/
ヨザル	両方のジャングル	果実 こん虫	夜

ここから、果実やこん虫を食べ、夜に活動するサルは、「ヨザル」だとわかりますね。

答え

問一 A Ⅱほうふな食料 B Ⅱ取り合い

問二 イ

問三 こう水ではかいされたあと、新しい木々がはえはじめたジャングル。

問四 ヨザル

問五 (ア)受 (イ)育